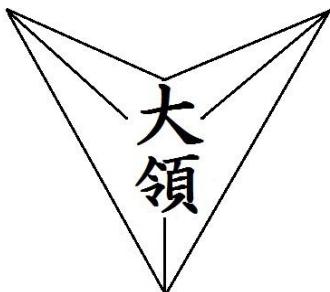


令和6年度

運営に関する計画・自己評価



大阪市立大領小学校

令和6年4月

## 大阪市立大領小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

### 1 学校運営の中期目標

#### 現状と課題

##### 【安心・安全な教育の推進】

令和3年度の全国学力学習状況調査結果における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、64.9%で、大阪市平均を19.4%下回っており、大きな課題だと考える。一方「学校に行くのは楽しいと思いますか」という項目で肯定的に回答した児童の割合は、78.6%と大阪市平均を若干上回っている。基本的な生活習慣について、「朝食を毎日食べていますか」という項目で肯定的に回答した児童の割合は、93.4%と大阪市平均と同等であった。また、自尊感情について、令和3年度の学力経年調査結果で「自分にはよいところがあると思う」という項目で肯定的に回答した児童の割合は、73.3%で、大阪市平均と同等であった。

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和3年度の全国学力学習状況調査結果では、国語は2ポイント、算数は1ポイント大阪市平均を下回っている。また、平均無回答率も国語が1.4ポイント、算数が1.9ポイント大阪市平均を下回っている。令和3年度の学力経年調査における国語・算数の平均正答率の対全国比は、国語 0.96、算数 0.93 である。

令和3年度の全国体力運動能力、運動習慣等調査では、体力合計点の対全国比が男子3ポイント、女子4ポイント下回っている。また、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は53.7%であった。

##### 【学びを支える教育環境の充実】

「ともに学び、ともに考え表現できる子～ICTを活用した言葉の力の向上をめざして～」を校内研究の課題とした。新型コロナウイルス感染症対策により様々な活動が制限される中で、各学年で工夫しながらいろいろな教科でICTを活用した言語活動に取り組んでいる。また、令和3年度の学力経年調査結果で「デジタルドリルを使った学習は楽しいですか」という項目で肯定的に回答した児童の割合は、81.8%、「正しいキーワードを入力して、知りたいことをインターネットで調べることができますか」という項目で肯定的に回答した児童の割合は、89.0%で、大阪市平均と同等であった。

教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合は、令和4年2月現在 基準1が62.16%、基準2が89.19%である。

本校のこれまでの取組の成果が表れており、大阪市平均と同等、または上回っている項目もある。しかし、大阪市平均を下回っている項目もある。今後は、大阪市平均を超える結果が出るよう、教育活動のさらなる向上を目指す。

## 中期目標

### 【安心・安全な教育の推進】

#### 安心・安全な教育環境の実現と豊かな心の育成

- 令和7年度、次の各項目について肯定的に回答する割合を令和3年度以上に増加させる。
  - ・「自分の良いところを見つけることができている」(校内児童アンケート) 令和3年度 71%
  - ・「毎日、学校に来るのが楽しい」(校内児童アンケート) 令和3年度 85.0%
  - ・「学校のきまりを守っている」(校内児童アンケート) 令和3年度 76.0%
  - ・「先生や友だち、地域の人たちにあいさつをしている」(校内児童アンケート) 令和3年度 89%
  - ・「将来の夢や目標をもっていますか。」(学力経年調査) 令和3年度 77.2%
- 令和7年度、「ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、ネット(インターネット)を使って、動画を見たり、ゲームやSNSなどをしたりしますか」という項目で、3時間以上と回答した児童の割合を20.5%以下にする。 令和3年度 24.2%
- 前年度不登校児童・長期欠席児童の改善の割合を増加させる。(出席日数・ICTを活用して児童・保護者とつながる回数・学校内外機関等とつながる回数)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 誰1人取り残さない学力の向上と健やかな体の育成

- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。
- 令和7年度、次の各項目について肯定的に回答する割合を令和3年度以上に増加させる。
  - ・「学校では自分の考えをすすんで発表している」(校内児童アンケート) 令和3年度 60%
  - ・「体を動かすこと(運動やスポーツ)が好き」(校内児童アンケート) 令和3年度 89%
  - ・「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」※もっとも肯定的(経年調査) 令和3年度 31.8%
- 全国体力運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比を1.00以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 教育DXの推進、人材の確保・育成としなやかな組織づくり、家庭・地域と連携した教育の推進

- 授業日において学習者用端末を毎日利用した割合(学校行事等でICT活用が適さない日を除く)を令和7年度に100%とする。
- 教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合(基準1は49.7%、基準2は75.4%)以上にする。(令和4年2月現在 基準1:62.16% 基準2:89.19%)
- 令和7年度、児童アンケートで「読書は好き」(経年調査)と肯定的に回答する児童の割合を76.6%以上にする。 令和3年度 81%

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安心・安全な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 78%以上にする。

R4 78.5%→R5 73.9%

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

○ 安心・安全な教育環境の実現

・次の各項目について肯定的に回答する児童の割合を 80%以上に増加させる。

・「学校に行くのは楽しい」（校内） R4 85.0%→R5 85.5%

・「学校のきまりを守っている」（校内） R4 91.0%→R5 91.6%

・「先生や友だち、地域の人たちにあいさつをしている」（校内） R4 88.0%→R5 89.6%

・不登校児童・長期欠席児童への支援を検討する会議を年 3 回以上実施して、不登校児童の在籍比率を 1%以下にする。 R4 1.13%→R5 0.3%

・情報モラル教育の推進を行い、次の数値目標を達成させる。

・年 1 回以上、外部講師等による情報モラル学習の場を設ける。（児童・保護者・教職員対象）

・「ふだん（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、ネット（インターネット）を使って、動画を見たり、ゲームや SNSなどをしたりしますか」（経年調査）という項目で、3 時間以上と回答した児童の割合を 35%以下にする。 R4 30.2%→R5 23.5%

・防災・減災教育の推進を図り「地震や台風、登下校で危険な時、どうしたらよいか分かること」（校内）という項目で、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 R4 93.0%→R5 97.9%

○ 豊かな心の育成

・キャリア教育の充実を図り、次の各項目について肯定的に回答する児童の割合を 80%以上に増加させる。

・「自分の良いところを見つけることができている」（校内） R4 75.0% R5 75.2%

・「将来の夢や目標をもっていますか」（校内） R4 82.6% R5 86.9%

・インクルーシブ教育の推進や体験的活動をとおして、実感的・共感的理解を促し、情操を養い、「相手の気持ちを考えたり、助け合ったりしている」（校内）児童の割合を 80%以上に増加させる。

R4 87% R5 90.6%

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 全市共通目標（小・中学校）

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」【全国学力・学習状況調査】に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、35%以上にする。 R4 35.6%→R5 30.1%

○平均正答率の対全国比（国語・算数）【全国学力・学習状況調査】を1.00以上にする。  
R5 国語 R4 1.05% → R5 1.07% 算数 R4 0.97% → R5 1.07%

○「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する小学6年生の割合（%）【本市調査】を、66.0%以上にする。 R5 66.0%

○体力合計点の対全国比【全国体力運動能力、運動習慣等調査】を、0.97以上にする。  
(男子) R4 0.93% → R5 0.99% (女子) R4 0.95% → R5 0.96%

○「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合（%）【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】を60%以上にする。 R4 65.7% → R5 60.2%

### 学校園の年度目標

○誰1人取り残さない学力の向上

- ・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。  
6年 16.1→9.7→9.7 5年 11.7→17.9 4年→17.6→  
・「学校では自分の考えをすすんで発表している」（校内）について、肯定的に回答する児童の割合を60%以上に増加させる。 R4 65.0%→64.1%
- ・「友だちと学習することや、みんなで何かをする学習は好き」（校内）について肯定的に回答する児童の割合を85%以上に増加させる。 R4 92%→90.6%
- ・英語教育の強化を図る取り組みを行い、「英語の学習は楽しい」（校内）と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 R4 85%→83.8%
- ・家庭科教育についての指導力向上を図るために、授業研究会や研究発表会を行い、参加者アンケート「本日の研究発表会（公開授業）で、自分の知識を深めたり、新たな発見がありましたか」について、肯定的な回答を80%以上にする。

○健やかな体の育成

- ・いずれの学年も、新体力テストの結果（学年男女別平均）を1学期と2学期に計測し全8種目中、記録が伸びた種目を2種目以上向上させる。
- ・「体を動かすこと（運動やスポーツ）が好き」（校内）について肯定的に回答する割合を85%以上にする。 R4 88.0%→ R5 86.1%
- ・健康で衛生的な生活を行うことができるように取り組みを進め、次の各項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上に増加させる。
  - ・「ハンドカチ・ティッシュを毎日持ってきている」（校内） R4 88%→ R5 84.2%
  - ・「つめの手入れができている」（校内） R4 85%→ R5 87.5%

### 【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合を基準1は49.7%、基準2は75.4%以上にする。（基準1）R4 66.7% → R5 70.0% （基準2）R4 94.9% → R5 90.0%
- 「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合（%）【小学校学力経年調査】を76%以上にする。 R4 77.1% → R5 77.0%

#### 学校園の年度目標

- 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ・授業日において学習者用端末を毎日利用した割合（学校行事等でICT活用が適さない日を除く）を80%以上にする。 R4 月間活用率100% → R5 100%
- ・「ICT（パソコンやタブレット）を使った学習が楽しい」（校内）と肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 R4 93.0% → R5 92.8%

- 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ・年次有給休暇を7日以上取得する教職員の割合を70%以上にする。 R4 97.7% → R5 100%
- ・ゆとりの日を週1回設定・実施する。

- 生涯学習の支援

- ・学校図書館の活性化を図り、「自分で読書をしたり、読み聞かせを聞いたりすることが好き」（校内）で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 R4 86% → R5 80.9%

- 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

- ・保護者や地域住民に開かれた学校づくりを行うために、各学年の学校生活の様子を学校ホームページに掲載して、アクセス数を4万件以上にする。 R5 48126
- ・学校外の人材を活用した学習や教員研修会を年6回以上行う。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### 最重要目標1

##### 【安心・安全な教育の推進】について

##### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】について

##### 【学びを支える教育環境の充実】について

(様式2)

大阪市立大領小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

|   |  |
|---|--|
| 評価基準 A：目標を上回って達成した<br>C：取り組んだが目標を達成できなかった | B：目標どおりに達成した<br>D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |
|---|--|

| 年 度 目 標  | 達成<br>状況 |
|--|----------|
| <p><b>【安心・安全な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 78%以上にする。</p> <p>R4 78.5%→R5 73.9%</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○ 安心・安全な教育環境の実現</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次の各項目について肯定的に回答する児童の割合を 80%以上に増加させる。<ul style="list-style-type: none"><li>・「学校に行くのは楽しい」（校内） R4 85.0%→R5 85.5%</li><li>・「学校のきまりを守っている」（校内） R4 91.0%→R5 91.6%</li><li>・「先生や友だち、地域の人たちにあいさつをしている」（校内） R4 88.0%→R5 89.6%</li></ul></li><li>・不登校児童・長期欠席児童への支援を検討する会議を年3回以上実施して、不登校児童の在籍比率を1%以下にする。 R4 1.13%→R5 0.3%</li><li>・情報モラル教育の推進を行い、次の数値目標を達成させる。<ul style="list-style-type: none"><li>・年1回以上、外部講師等による情報モラル学習の場を設ける。（児童・保護者・教職員対象）</li><li>・「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、ネット（インターネット）を使って、動画を見たり、ゲームやSNSなどをしたりしますか」（経年調査）という項目で、3時間以上と回答した児童の割合を35%以下にする。 R4 30.2%→R5 23.5%</li></ul></li><li>・防災・減災教育の推進を図り「地震や台風、登下校で危険な時、どうしたらよいか分かる」（校内）という項目で、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 R4 93.0%→R5 97.9%</li></ul> <p>○ 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・キャリア教育の充実を図り、次の各項目について肯定的に回答する児童の割合を80%以上に増加させる。<ul style="list-style-type: none"><li>・「自分の良いところを見つけることができている」（校内） R4 75.0% R5 75.2%</li><li>・「将来の夢や目標をもっていますか」（校内） R4 82.6% R5 86.9%</li></ul></li><li>・インクルーシブ教育の推進や体験的活動をとおして、実感的・共感的理解を促し、情操を養い、「相手の気持ちを考えたり、助け合ったりしている」（校内）児童の割合を80%以上に増加させる。 R4 87% R5 90.6%</li></ul> |          |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   | 進捗状況 |
|--|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育の推進】</b><br>「いじめについて考える日」の取り組み、学期に1回いじめアンケートの実施を行い、いじめを許さない学校づくりを行う。                            |      |
| <b>指標：</b> 児童アンケートにおける「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか」の項目で、「そう思う」と回答する児童を80%以上にする。   |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向1 安心・安全な教育の推進】</b><br>各学級で児童が意欲的にあいさつできるように取り組む。  |      |
| <b>指標：</b> 児童アンケートにおける「先生や友だち、地域の人たちにあいさつをしている」の項目で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答する児童を合わせて80%以上にする。                           |      |
| <b>取組内容③【基本的な方向1 安心・安全な教育の推進】</b><br>防災・減災教育の推進を図り、児童の安全を確保できるように「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時・緊急時に備えた訓練や集まりを年3回以上実施する。 |      |
| <b>指標：</b> 児童アンケートにおける「地震や火事・台風が起こったら、どうしたらよいかわかる」の項目で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答する児童を合わせて90%以上にする。                        |      |
| <b>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b><br>校外の人権教育研修会を通し、教職員の人権感覚を高める。   |      |
| <b>指標：</b> 校外の人権教育研修会に、年間2回以上参加する。   |      |
| <b>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b><br>学年に応じたキャリア教育を進め、職業意識や自己実現意識を養う。   |      |
| <b>指標：</b> 校内児童アンケートの「将来の夢や目標をもっていますか」の項目で、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。   |      |
| <b>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b><br>インクルーシブ教育の推進や体験的活動を通して、実感的・共感的理解を促し、情操を養う。  |      |
| <b>指標：</b> 校内児童アンケートの「相手の気持ちを考えたり、助け合ったりしている」の項目で、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。  |      |

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

【取組内容について】

【次年度へ向けて】

(様式2)

## 大阪市立大領小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| 年 度 目 標   | 達成<br>状況 |
|---|----------|
| <p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」【全国学力・学習状況調査】に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、35%以上にする。<br/>R4 35.6%→R5 30.1%</p> <p>○平均正答率の対全国比（国語・算数）【全国学力・学習状況調査】を1.00以上にする。<br/>R5 国語 R4 1.05 → R5 1.07 算数 R4 0.97 → R5 1.07</p> <p>○「理科の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する小学6年生の割合（%）【本市調査】を、66%以上にする。<br/>R5 66.0%</p> <p>○体力合計点の対全国比【全国体力運動能力、運動習慣等調査】を、0.97以上にする。<br/>(男子) R4 0.93 → R5 0.99 (女子) R4 0.95 → R5 0.96</p> <p>○「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童生徒の割合（%）【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】を60%以上にする。<br/>R4 65.7% → R5 60.2%</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○誰1人取り残さない学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。<br/>6年 16.1→9.7→9.7 5年 11.7→17.9 4年→17.6→</li> <li>・「学校では自分の考えをすすんで発表している」（校内）について、肯定的に回答する児童の割合を60%以上に増加させる。<br/>R4 65.0%→64.1%</li> <li>・「友だちと学習することや、みんなで何かをする学習は好き」（校内）について肯定的に回答する児童の割合を85%以上に増加させる。<br/>R4 92%→90.6%</li> <li>・英語教育の強化を図る取り組みを行い、「英語の学習は楽しい」（校内）と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。<br/>R4 85%→83.8%</li> <li>・家庭科教育についての指導力向上を図るために、授業研究会や研究発表会を行い、参加者アンケート「本日の研究発表会（公開授業）で、自分の知識を深めたり、新たな発見がありましたか」について、肯定的な回答を80%以上にする。</li> </ul> <p>○健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの学年も、新体力テストの結果（学年男女別平均）を1学期と2学期に計測し全8種目中、記録が伸びた種目を2種目以上向上させる。</li> <li>・「体を動かすこと（運動やスポーツ）が好き」（校内）について肯定的に回答する割合を85%以上にする。<br/>R4 88.0%→ R5 86.1%</li> <li>・健康で衛生的な生活を行うことができるよう取り組みを進め、次の各項目について肯定的に回答する児童の割合を85%以上に増加させる。</li> </ul> |          |

|  |                                      |      |
|--|--------------------------------------|------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハンカチ・ティッシュを毎日持ってきてている」(校内)</li> <li>・「つめの手入れができる」(校内)</li> </ul>  | R4 88%→ R5 84.2%<br>R4 85%→ R5 87.5% |      |
| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標   |                                      | 進捗状況 |
| <b>取組内容①【基本的な方向4 誰1人取り残さない学力の向上】</b><br>校内研究や研修などを通して、新たな指導法の研究と共有を図り、教員の指導力を養成する。<br>指標：研究・研修計画にしたがい、新たな指導法の研究を進める。全教職員が年1回は授業力の向上に関わる公開授業を行う。家庭科教育についての指導力向上を図るために、授業研究会や研究発表を行い、参加者アンケート「本日の研究発表会（公開授業）で、自分の知識を深めたり、新たな発見がありましたか」について、肯定的な回答を80%以上にする。  |                                      |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向4 誰1人取り残さない学力の向上】</b><br>様々な学習活動において言語活動を取り入れ、伝え合う力を育成する。<br>指標：あらゆる学習活動において、言語活動（話す・聞く・書く・読む）を取り入れた学習を進める。「学校では自分の考えをすすんで発表している」（児童アンケート）の設問に対し、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。「友だちと学習することや、みんなで何かをする学習は好き」（児童アンケート）の設問に対し、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。   |                                      |      |
| <b>取組内容③【基本的な方向4 誰1人取り残さない学力の向上】</b><br>英語教育の充実を図る。<br>指標：英語教育の強化を図る取り組みを行い、「英語の学習は楽しい」（児童アンケート）の設問に対し、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。   |                                      |      |
| <b>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b><br>1学期体力測定の結果をもとに目標を設定し、体育科の学習、体育的行事や学級活動での遊びなどにおいて継続的に体力の向上にむけた取り組みをしていく。<br>指標：体力測定の記録向上にむけて、各種技能や体力の向上につながる運動を継続的に取り組めるように学習カードの作成・活用、単元の学習につながるような運動（遊具を使った運動やサーキットトレーニング等のウォーミングアップ）を取り入れたり、運動委員会による運動教室を計画的に実施したりすることで、校内児童アンケート「体を動かすこと（運動やスポーツ）が好き」で、肯定的な回答を行う児童の割合を85%以上にする。 |                                      |      |
| <b>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b><br>児童が健康で衛生的な生活を営むことができるように指導する。<br>指標：校内児童アンケート「ハンカチ・ティッシュを毎日持ってきてている」「つめの手入れができる」で、肯定的な回答を行う児童の割合を85%以上にする。   |                                      |      |
| <b>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b><br>「給食だより」「食育通信」「栄養教室」「給食カレンダー」「給食ニュース」「給食試食会」強調週間などを通して食に关心をもたせ、残さず時間内に食べるよう指導する。<br>指標：校内児童アンケート「給食では、苦手なものもがんばって食べようとしている」で、肯定的な回答を行う児童の割合を85%以上にする。   |                                      |      |

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標について】

【取組内容について】

【次年度へ向けて】

(様式2)

大阪市立大領小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| 年 度 目 標   | 達成<br>状況 |
|---|----------|
| <p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>○ 教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合を基準1は 49.7%、基準2は 75.4%以上にする。 (基準1) R4 66.7% → R5 70.0% (基準2) R4 94.9% → R5 90.0%</p> <p>○ 「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合（%）【小学校学力経年調査】を 76%以上にする。 R4 77.1% → R5 77.0%</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○ 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業日において学習者用端末を毎日利用した割合（学校行事等で I C T 活用が適さない日を除く）を 80%以上にする。 R4 月間活用率 100% → R5 100%</li><li>・「I C T（パソコンやタブレット）を使った学習が楽しい」（校内）と肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 R4 93.0% → R5 92.8%</li></ul> <p>○ 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。 R4 97.7% → R5 100%</li><li>・ゆとりの日を週 1 回設定・実施する。</li></ul> <p>○ 生涯学習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校図書館の活性化を図り、「自分で読書をしたり、読み聞かせを聞いたりすることが好き」（校内）で肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 R4 86% → R5 80.9%</li></ul> <p>○ 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者や地域住民に開かれた学校づくりを行うために、各学年の学校生活の様子を学校ホームページに掲載して、アクセス数を 4 万件以上にする。 R5 48126</li><li>・学校外の人材を活用した学習や教員研修会を年 6 回以上行う。</li></ul> |          |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標  | 進捗状況 |
|---|------|
| <b>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</b><br>教職員のICT機器の活用スキルを向上、ICT機器を有効的に活用した授業を推進し、児童のICT機器の活用能力の向上を図る。             |      |
| 指標：タブレット端末を使った活動を行った日を、週に3日以上にし、児童アンケート「パソコンやタブレットを使った学習が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。                     |      |
| <b>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b><br><br>ゆとりの日を週1回設定・実施して、教員の時間外勤務を減少させる。                         |      |
| 指標：教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合（基準1は49.7%、基準2は75.4%）以上にする。   |      |
| <b>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b><br><br>読書タイムの設定や図書開放、ボランティアの方の読み聞かせ等の取り組みを行って児童が読書をする機会を確保し、本を読む習慣がつくようにする。 |      |
| 指標：児童アンケート（校内）で「自分で読書をしたり、読み聞かせを聞いたりすることが好き」で肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。                                      |      |
| <b>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b><br><br>保護者や地域住民に開かれた学校づくりを行う。                                   |      |
| 指標：<br>・月2回以上各学年の学習の様子を学校ホームページに掲載する。<br>・出前授業やゲストティーチャー等を活用し、学習に取り組む。<br>・教員研修会を年6回以上行う。                 |      |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析   |      |
| <b>【年度目標について】</b>   |      |
| <b>【取組内容について】</b>   |      |
| <b>【次年度へ向けて】</b>  |      |

※ 評価方法について

実績値／目標値×100 (%)

|                        |              |
|------------------------|--------------|
| A 目標を上回って達成した          | 110%以上       |
| B 目標どおりに達成した           | 90%以上 110%未満 |
| C 取り組んだが目標を達成できなかつた    | 90%未満        |
| →担当で改善策を考え、提案を行う。      |              |
| →担当で目標値の再設定を検討する。      |              |
| D ほとんど取り組めず目標を達成できなかつた |              |
| →担当で改善策を考え、提案を行う。      |              |

(例) アンケートの目標85%以上。アンケート結果90%の場合

$$90 \div 85 \times 100 = 105.9 (\%) \quad B\text{評価}$$

※ 教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教員の割合を基準1・基準2とは

基準1 1か月の時間外勤務が45時間を超えない、かつ1年間の時間外勤務が360時間  
を超えない。

基準2 1年間の時間外勤務が720時間以下、時間外勤務が45時間を超える月が6月以下、時間外勤務が45時間を超える月が0、直近2～6か月の時間外勤務の平均が  
80時間を超える月を0、をすべて満たす。